

科目名 (英)	導入教育Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	海老塚 智
		授業形態	演習		無	開講区分	
		時間数	30	授業回数	15		
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	集中
講師紹介	略歴:滋慶学園(スポーツ、福祉、医療の分野)で8年職員として働く						
目的	入学後学校生活に必要なルールなどを学ぶ。 1年間共に学ぶ仲間として支え合う、ヘルプを出す、高め合うなどのクラスの環境づくりを行うため積極的な関わりを心がける。						
科目概要	集団生活に必要なルールーや必要とされる知識や技術を理解する 自己理解、他者理解を行う						
到達目標	学校生活が円滑に送ることができる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	授業後の復習をノート等をもとに実施すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	新入生オリエンテーション①	演習	クラスの仲間はどんな人か？クラスの「安心・安全」とは何か？を考える
2	新入生オリエンテーション①	演習	クラスの仲間はどんな人か？クラスの「安心・安全」とは何か？を考える
3	新入生オリエンテーション②	演習	学校のルール確認
4	新入生オリエンテーション②	演習	学校のルール確認
5	新入生オリエンテーション③	演習	自分の歩んで来た道を確認し、決意を固める
6	新入生オリエンテーション③	演習	自分の歩んで来た道を確認し、決意を固める
7	援助は求めてもいい？仲間で目標を達成するためには？	演習	目標達成のために仲間の力を借りることの大切さを知る
8	援助は求めてもいい？仲間で目標を達成するためには？	演習	目標達成のために仲間の力を借りることの大切さを知る
9	「自分史」を作成して自己理解と他者理解をしよう！	演習	「自分史」の作成をして自己理解を深め、他者の人生を知り他者理解をする
10	「自分史」を作成して自己理解と他者理解をしよう！	演習	「自分史」の作成をして自己理解を深め、他者の人生を知り他者理解をする
11	キャリアカウンセラー？どうやって利用するの？	演習	「自分史」を自己理解そして就職活動の自己PRへとつなげるワーク
12	キャリアカウンセラー？どうやって利用するの？	演習	「自分史」を自己理解そして就職活動の自己PRへとつなげるワーク
13	人によってリアクションや感じ方、表現は違う？	演習	人によってリアクションや感じ方、表現は違うことを知りその人の本質は何かを考える
14	人によってリアクションや感じ方、表現は違う？	演習	人によってリアクションや感じ方、表現は違うことを知りその人の本質は何かを考える
15	定期試験 レポート提出		

科目名 (英)	導入教育Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	海老塚 智
		授業形態	演習		無	開講区分	
		時間数	15	授業回数	8		
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	集中
講師紹介	略歴:滋慶学園(スポーツ、福祉、医療の分野)で8年職員として働く						
目的	就職活動について知り、少しずつ準備をしていきます						
科目概要	自分に合った働き方は？						
到達目標	就職する業界を知る。就職活動に必要な情報を知る						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	授業後の復習として、ノート等の振り返りを実施する。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	就職講座	演習	キャリアセンターの先生から就職活動について知る
2	就職講座	演習	キャリアセンターの先生から就職活動について知る
3	正社員？契約社員？アルバイト？何が違うの？	演習	それぞれの働き方のメリットやデメリットを知り、自分自身の働き方を考える
4	正社員？契約社員？アルバイト？何が違うの？	演習	それぞれの働き方のメリットやデメリットを知り、自分自身の働き方を考える
5	業界について知ってみよう	演習	自分が働きたい業界はどんなところ？調べて知ってみよう！
6	業界について知ってみよう	演習	自分が働きたい業界はどんなところ？調べて知ってみよう！
7	履歴書作成	演習	就職活動に必要な履歴書を作成しよう！
8	履歴書作成	演習	就職活動に必要な履歴書を作成しよう！

科目名 (英)	導入教育Ⅲ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	海老塚 智
		授業形態	演習				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	集中
講師紹介	略歴:滋慶学園(スポーツ、福祉、医療の分野)で8年職員として働く						
目的	専門知識、技術以外の学びですが、知っている役立つ内容です。楽しみながら身につけてください						
科目概要	卒業後ビジネスシーンで多様な場面で活躍できる						
到達目標	卒業後ビジネスシーンで多様な場面で活躍できる知識・技術を身につける						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	授業後の復習として、ノート等の振り返りを実施する。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	社会人マナー①	演習	卒業後社会人になるとはどういうこと？
2	社会人マナー①	演習	卒業後社会人になるとはどういうこと？
3	社会人マナー②	演習	言葉遣い、名刺の渡し方など知っておきたい知識を知ろう！
4	社会人マナー②	演習	言葉遣い、名刺の渡し方など知っておきたい知識を知ろう！
5	社会人マナー③	演習	冠婚葬祭ってどうすればいいの？を知っておこう！
6	社会人マナー③	演習	冠婚葬祭ってどうすればいいの？を知っておこう！
7	卒業後に向けた目標設定	演習	卒業後どうやってすごす？目標を設定しよう！
8	卒業後に向けた目標設定	演習	卒業後どうやってすごす？目標を設定しよう！

科目名 (英)	キャリア教育講座 Career education course	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	あんこあられ本舗 岩佐 浩之
		授業形態	講義				
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	月曜日 6限-7限
講師紹介	流通業界では様々な仕入れ販売の経営経験を持ち、一部上場企業メーカー勤務では、製造から営業経験をし、現在3社を経営するオーナーが教える、社会人としての考え方目標設定の仕方、達成の仕方・人脈の作り方を講義します。 ビジネスだけでなく、個人として必要な生きる力をわかりやすく講義します。また、カウンセラーとして精神的健康の維持・心が壊れない考え方・自分との付き合い方・1対1のコミュニケーション心理・縦の人間関係のコミュニケーションの考え方をわかりやすく講義します。						
目的	仕事・プラン・デザインなどの知識を学び、仕事・自分自身のライフプランを立てれるようになり、充実したキャリアを実現できるようになる。						
科目概要	歯科助手を目指すために必要な、基本を学ぶ						
到達目標	プランの立て方・目的目標の意味と設定の仕方・人脈の整理作り方について学び、理解し、実践できるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 ■□頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	世の中のニュース・不思議に思ったことを質問する		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎時間ごとに配布						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	オリエンテーション	講義	講師自己紹介 8回の授業の流れを解説
3・4	目的目標	講義	目的とは何か・目標とは何かについて学ぶ トータルパースンについて学ぶ 時代の流れについて学ぶ
5・6	社会に出てからのコミュニケーション	講義	自分とのコミュニケーション・1対1のコミュニケーション・1対多のコミュニケーションについて学ぶ コンフォートゾーンを知る
7・8	人脈	講義	人脈の整理の仕方・作り方について学ぶ
9・10	収入・お金	講義	収入の種類・お金の知識を身に着ける。
11・12	ライフプラン	講義	ライフプランを立てれるようになる。
13・14	振り返り	講義	1回～6回までの振り返り
15	定期試験		

科目名 (英)	接遇マナー hospitality manners	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	あんこあられ本舗 木村雅一
		授業形態	講義			開講区分	
		時間数	15	授業回数	8		
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	水曜日 6限
講師紹介	・専門商社で北米・東南アジアを主とした貿易業務に携わり、異文化コミュニケーションの大切さ、難しさを身を持って体験した講師が、長年の経験をもとに、人の中で生きることが必須となる人間とつ基礎となる”コミュニケーション”を講義を行う。 同時に人間関係を円滑にし、職業人として身につけるべき自己表現・接遇・マナー・ホスピタリティ精神の要素も含めた社会的スキルの大切さを意識し、専門的知識と基礎的知識の基礎を習得する講義を行う						
目的	・「相手に満足を提供する」ことができるように具体的な表現力や人間力を身につける						
科目概要	・歯科助手を目指すために必要な、チーム医療の基本を学ぶ						
到達目標	・サービススタッフの基本を学び実践に活かす						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	毎回授業で学んだことを、家庭・友人・先生に実践し、質問する。 分らない専門用語などは、予め調べて予習しておく 日常のコミュニケーションの場においても、授業でのポイントは意識 してみる		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎回授業で配布						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	専門知識	講義	①サービスの意義について理解できる ②サービスの機能を理解し、十分発揮できる ③サービスの種類を活用できる
2	一般知識を理解する	講義	①社会常識を十分活用できる ②時事問題を十分理解している
3	実務技能を理解する	講義	①問題処理について効率よく対処できる ②環境整備について十分対処できる ③金品管理、社交業務を理解する
4	対人技能を理解する	講義	(1)人間関係 ①人間関係の対処について発揮できる能力をみにつける ②接遇知識を身につける
5	ビジネスマナーを身につける	講義	プレゼンテーションの練習をする。
6	ビジネスマナーを身につける	講義	語彙力を高める
7	ビジネスマナーを身につける	講義	仕事の仕方を学ぶ
8	定期試験		

科目名 (英)	IT技術 IT Technology	年次	1	必修科目	実務経験	科目責 任者	(株)ブレースタッフコンサルタンツ
		授業形態	講義		有	開講区分	
		時間数	45	授業回数	24		
学科・コース	歯科助手学科	単位	3				曜日/時間
講師紹介	滋慶学園グループのグループ企業(株)ブレースタッフコンサルタンツに所属しているラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化したオリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用						
目的	Wordの文章作成やExcelの表作成やグラフ作成を実践的に学習することで、卒業研究や就職後に必要となるパソコンスキルの習得を目指す						
科目概要	前期前半 Wordを使用した文章作成 / 前期後半:Excelの基礎と応用						
到達目標	・情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・Wordを利用した複合文書を作成できる ・Excelを利用し、表計算や表、グラフの作成ができる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 □口頭試験 ■実技試験 □その他()						
教科書	オリジナルのe-learningテキストを使用			事前事後 学習と その内容	事後学習として、e-learning教材の文章説明や動画を活用して操作手順を復習する		
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる	演習	・講座を受講する意義 ・ICT活用に関するアンケート
2	新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる	演習	・インターネットの情報を理解し、安全にインターネット利用ができる知識や能力を身につける ・タイピングの基礎
3	web検索で必要な情報を収集できる ファイルとフォルダを効率よく取り扱える	演習	・web検索 ・データの整理
4	受け取り手に好印象を与えるメールを作成できる	演習	・メールマナー
5	Officeの基本操作ができる	演習	・Officeの共通操作 ・基本操作(Excel)
6	Wordソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる	演習	1. ビジネス文書とは、2. ページ設定、3. インデント 4. 箇条書きと段落番号、5. 均等割り付け、6. 表の作成
7	Wordソフトを使って、画像や図形を駆使した文書を作成できる	演習	1. 図形や画像を駆使した文書、2. 画像の編集、3. テキストボックス 4. Excelグラフの貼り付け、5. 図形の編集
8	Wordソフトを使って、表を駆使した文書を作成できる	演習	1.表を駆使した文書、2.表の基本 3.複雑な表の作成、4表の編集
9	Word基礎で習ったことを実践できる	演習	6-8回目のWord講義で学習した内容を総復習
10	Word復習テスト	演習	6-8回目のWordで講義で学習した内容を実践的に活用する
11	院内ポスター作成	演習	Word表作成、画像の挿入、ポスター加工
12	抄録作成	演習	1.抄録1作成、2.ヘッダーとフッター、3.インデントの設定 4.ページ番号の挿入、5.目次の作成、6.セクション区切り 7.抄録2作成、8.段組み・段区切り、9.脚注
13	Excelソフトを使って、企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	演習	1 表の作成(復習)、2 オートフィル、3 数式の作成 4 SUM関数、5 グラフ作成、6 印刷
14	Excelソフトを使って、関数を駆使した資料を作成できる	演習	1.割合を求める、2.相対参照と絶対参照、3. AVERAGE関数 4.COUNTIF関数、5. シートの操作
15	Excelソフトを使って、グラフを駆使した資料を作成できる	演習	1.目的に応じたグラフ作成、2.グラフのレイアウト、3.行や列の挿入 4.グラフの編集、5.目的に応じたグラフ作成2

科目名 (英)	IT技術 IT Technology	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責 任者	(株)ブレーンスタッフコンサルタンツ
		授業形態	講義		有		
		時間数	45	授業回数	24		
学科・コース	歯科助手学科	単位	3			曜日/時間	前期
講師紹介	滋慶学園グループのグループ企業(株)ブレーンスタッフコンサルタンツに所属しているラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化したオリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用						
目的	Wordの文章作成やExcelの表作成やグラフ作成を実践的に学習することで、卒業研究や就職後に必要となるパソコンスキルの習得を目指す						
科目概要	前期前半 Wordを使用した文章作成 / 前期後半:Excelの基礎と応用						
到達目標	・情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・Wordを利用した複合文書を作成できる ・Excelを利用し、表計算や表、グラフの作成ができる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 □口頭試験 ■実技試験 □その他()						
教科書	オリジナルのe-learningテキストを使用			事前事後 学習と その内容	事後学習として、e-learning教材の文章説明や動画を活用して操作手順を復習する		
参考図書							
特記事項							

科目名 (英)	英会話	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	岩淵 美嘉
		授業形態	講義		有		
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	4クォーター 金曜日 7時限
講師紹介	大学で英米文学を専攻、海外貿易事務を経験した後、視能訓練士免許を取得し、視能訓練士として病院・眼科クリニックで臨床経験を積む。2年間のアメリカ滞在から帰国後、海外での豊富な現場経験を活かし英語教師となり、2003年より滋慶学園グループ専門学校の複数の学科で英語を教えている。						
目的	医療現場では日常的に英単語・英略語が使われている。外国人の増加に伴い、英語でコミュニケーションを取る場面も多くなり、英語の必要性は高まっている。臨床に必要な英語を学び、外国人の患者さんとコミュニケーションを取ることができるよう簡単な会話表現を習得する。						
科目概要	医療専門用語を覚え、さまざまな場面での英会話を練習する						
到達目標	医療現場特有の英単語を覚えることで医療人としての自覚を高める。毎授業ペアで英会話を練習することにより英語を話すことに慣れ、病院に勤務した際に外国人の患者さんに自然に声をかけられるようになることを目標とする。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 ■□口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	「医療英語コミュニケーション」			事前事後 学習と その内容	毎回の授業において、病院内のさまざまな場面で必要な単語を学び、翌週その単語テストを行う。		
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	自己紹介 & 受付の会話	講義	英語で自己紹介(相手の出身、住所、趣味などを尋ねる) 病院受付で、初診かどうか、保険証を持っているかどうか等を尋ねる表現を学び、練習する
2	身体の部位、痛みの表現	講義	身体の部位の英語名称や痛みの表現を学び、英語で簡単な問診ができるようになる
3	さまざまな症状	講義	さまざまな症状の英語表現を学び、その症状がどれくらい続いているかを尋ねる練習をする
4	病院案内 & 道案内	講義	道案内する際の重要表現を学び、病院内や病院周辺の案内をする際の英会話を練習する
5	予約に関する表現、電話の会話表現	講義	英語での電話の会話表現を学び、予約を受ける際の英会話を練習する
6	会計での会話	講義	会計の費目や金額の読み方を学び、会計について説明する練習を行う
7	歯科専門用語	講義	歯科用語を学び、簡単な歯科診療の英会話を練習する
8	定期試験		会話試験

科目名 (英)	感情マネジメント emotion management	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	あんこあられ本舗 岩佐 浩之
		授業形態	講義				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	水曜日 6限
講師紹介	流通業界では様々な仕入れ販売の経営経験を持ち、一部上場企業メーカー勤務では、製造から営業経験をし、現在3社を経営するオーナーが教える、社会人としての考え方目標設定の仕方、達成の仕方・人脈の作り方を講義します。 ビジネスだけでなく、個人として必要な生きる力をわかりやすく講義します。また、カウンセラーとして精神的健康の維持・心が壊れない考え方・自分との付き合い方・1対1のコミュニケーション心理・縦の人間関係のコミュニケーションの考え方をわかりやすく講義します。						
目的	感情をコントロールし、自分を守るようになる						
科目概要	歯科助手を目指すために必要な、基本を学ぶ						
到達目標	怒りの感情・あきらめの感情・喜怒哀楽をかんじて、チーム医療に活かせるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 ☒ 口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	世の中のニュース・不思議に思ったことを質問する		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎時間ごとに配布						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	8回の授業の流れを解説 自分の基準を設ける
2	考え方①	講義	原因と言いついについて学ぶ 網羅思考と論点思考について学ぶ
3	考え方②	講義	主体性を発揮する
4	セグメンテーション	講義	輝ける場所について学ぶ
5	身を守る方法	講義	常識・礼儀・マナーの重要性を学ぶ。
6	アンガーマネジメント	講義	心理的安全性について学ぶ。
7	振り返り	講義	1回～6回までの振り返り
8	定期試験		

科目名 (英)	ロジカルシンキング logical thinking	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	あんこあられ本舗 岩佐 浩之
		授業形態	講義				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	火曜日 6限
講師紹介	流通業界では様々な仕入れ販売の経営経験を持ち、一部上場企業メーカー勤務では、製造から営業経験をし、現在3社を経営するオーナーが教える、社会人としての考え方目標設定の仕方、達成の仕方・人脈の作り方を講義します。 ビジネスだけでなく、個人として必要な生きる力をわかりやすく講義します。また、カウンセラーとして精神的健康の維持・心が壊れない考え方・自分との付き合い方・1対1のコミュニケーション心理・縦の人間関係のコミュニケーションの考え方をわかりやすく講義します。						
目的	感情ではなく論理的に物事をとらえ、考えられるようになる。						
科目概要	歯科助手を目指すために必要な、基本を学ぶ						
到達目標	論理的に物事を考えられる、そして実践できるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 ■□頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	世の中のニュース・不思議に思ったことを質問する		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎時間ごとに配布						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	8回の授業の流れを解説
2	感情と論理	講義	願望・希望と事実の違いを知る。
3	簡単なロジックを知る	講義	ロジカルシンキングを体験する。(誰かと食事)
4	問題を解決するための基本	講義	頭の引き出しを6つぐらい作る。様々なフレームワークを学ぶ
5	マンダラチャート	講義	考え方の組み立て方を学ぶ。(大谷)
6	様々なケース	講義	様々なケースを見て学ぶ マーケティングについて学ぶ
7	振り返り	講義	1回～6回までの振り返り
8	定期試験		

科目名 (英)	プレゼンテーション話法 presentation speech	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	あんこあられ本舗 岩佐 浩之
		授業形態	講義				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	火曜日 7限
講師紹介	流通業界では様々な仕入れ販売の経営経験を持ち、一部上場企業メーカー勤務では、製造から営業経験をし、現在3社を経営するオーナーが教える、社会人としての考え方目標設定の仕方、達成の仕方・人脈の作り方を講義します。 ビジネスだけでなく、個人として必要な生きる力をわかりやすく講義します。また、カウンセラーとして精神的健康の維持・心が壊れない考え方・自分との付き合い方・1対1のコミュニケーション心理・縦の人間関係のコミュニケーションの考え方をわかりやすく講義します。						
目的	相手や周りの人に、自分の考えを伝えられるようになる。						
科目概要	歯科助手を目指すために必要な、基本を学ぶ						
到達目標	自分の考えを正確に伝えられ、誤解から、仕事や人間関係が停滞することがないようにする。 自分の考えが整理できて、的確に表現できるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 ■□頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	世の中のニュース・不思議に思ったことを質問する		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎時間ごとに配布						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	講義	8回の授業の流れを解説
2	台本作り	講義	自己紹介文を作成する
3	「あなたは、どんな人ですか？」	講義	自己紹介文を作成する
4	プレゼンテーション話法注意点	講義	目線・声のトーン・顔の表情・身振り手振り・服装・髪型 TPO
5	聞く人の反応	講義	受容と共感を呼んでいるか。 自分の思いと同じ量、相手に伝わっているか。
6	恐怖の克服	講義	失敗する恐怖とは何か知る。
7	振り返り	講義	1回～6回までの振り返り
8	定期試験		

科目名 (英)	コミュニケーションスキル communication skills	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	あんこあられ本舗 木村雅一
		授業形態	講義				
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	金曜日 6限7限
講師紹介	・専門商社で北米・東南アジアを主とした貿易業務に携わり、異文化コミュニケーションの大切さ、難しさを身を持って体験した講師が、長年の経験をもとに、人との中で生きることが必須となる人間とつ基礎となる”コミュニケーション”を講義を行う。 同時に人間関係を円滑にし、職業人として身につけるべき自己表現・接遇・マナー・ホスピタリティ精神の要素も含めた社会的スキルの大切さを意識し、専門的知識と基礎的知識の基礎を習得する講義を行う						
目的	・職業人として効果的なコミュニケーション方法を知り、活用できるようになる						
科目概要	・歯科助手を目指すために必要な、チーム医療の基本を学ぶ						
到達目標	・社会で通用するコミュニケーション力を身につけ実践の場で行動できるようになる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	毎回授業で学んだことを、家庭・友人・先生に実践し、質問する。 分らない専門用語などは、予め調べて予習しておく 日常のコミュニケーションの場においても、授業でのポイントは意識してみる		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎回授業で配布						

授 業 計 画							
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容				
1	コミュニケーションとは	講義	・コミュニケーションの定義について理解することができる ・コミュニケーションの3領域・種類を理解することができる ・表情・態度・口調が言葉以上に重要であるということが理解できるようになる				
2	基本的対話スキル(1対1の会話)	講義	・コミュニケーション・ミスコミュニケーションの原因を会話のプロセスの中で理解することができる ・「聴く」「話す」の基本 「上手な質問」の要点を理解することができる・会話＝気持ちや考えの交換を事例を通して学ぶ				
3	グループでの会話 自己表現スキルⅠ	講義	・グループとは？ グループの意義を理解することができる ・グループでの会話の基本を1対1との会話と比較し理解することができる ・人間関係を円滑にする表現技術の要点を理解することができる				
4	自己表現スキルⅠ 自己表現スキルⅡ	講義	・人間関係を円滑にする「上手な頼み方」「上手な断り方」のポイントを理解することができる ・仕事上で必要とされる表現技術のスキルを理解することができる 「報告」「連絡」「相談」 5W1H法 PREP法				
5	自己表現スキルⅡ	講義	・「交渉」というコミュニケーションについて理解することができる ・「説得」というコミュニケーションについて理解することができる ・プレゼンテーションの基本を理解し、簡単なプレゼンテーションができるようになる				
6	自己表現スキルⅢ	講義	・トラブルのもととなる感情への対処法が理解できるようになる ・アンガーマネージメントについて理解できるようになる ・「感情」と「行動」の相関性、対処法が理解できるようになる 怒りの感情の扱い方 怒りの伝え方 他者からの怒りの対処				
7	社会的スキル 対人行動	講義	・基本的な社会的スキル マナー／仕事に対する姿勢について、理解できるようになる ・社会的スキル 対人行動を理解し、活用できるようになる 1挨拶 2敬語 3電話対応 4携帯電話				
8	中間試験	講義	・試験終了後、最後の単元のまとめをおこなう。 ・分らない問題を洗い出し、課題を抽出する 抽出された課題の何が分らなかったのかを特定し、理解する				
9	社会的スキルⅠ 対人行動 Ⅱ 文書作成	講義	・社会的スキルの実践 習得をする。 5接客 6訪問 7訪問(謝る おわびをする) ・ビジネス文書(社内文 社外文)の意義を理解することができる				
10	社会的スキルⅡ 文書作成	講義	・社外文書を明瞭・簡潔に記書きを用いて作成できるようになる				
11	社会的スキルの実践Ⅱ 文書作成	講義	・社会人の基本的マナー・教養、身につけるべき知識を学習し 日々の行動から意識し活用できるようにする 手紙 メール SNS FAX				
12	サービスマインドⅠ サービスマインドとは	講義	・サービス社会をふまえて。サービスマインドとは？、サービスとは？ について理解することができる ・サービスの心得を習得し、実践の場に活かすことができる				
13	サービスマインドⅠ サービスマインドとは	講義	・サービスを作り出す基本要素を理解することができる・1 人 人(あなた)と顧客／顧客満足度の関係を整理し、適切な行動と顧客理解、顧客ニーズを理解することができる ・2 環境 身だしなみを中心に環境サービスについて理解できる				
14	サービスマインドⅡ サービスの基本要素	講義	・企業、店舗における経営理念、それを実現するための方針、 サービスの方法 お客様への考えかを「プロセス」としてとらえ、 その方針や目的を実現するための重要な過程を理解することができる 理念、方針の理解 迅速対応 win-winの関係				
15	定期試験						

科目名 (英)	SNSプロモーター演習 SNS Promoter Exercises	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	(株)ブレインスタッフコンサルタンツ
		授業形態	講義		有	開講区分	
		時間数	30	授業回数	15		
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	水曜日6-7限: 対面／一部オンライン
講師紹介	滋慶学園グループのグループ企業(株)ブレインスタッフコンサルタンツに所属しているラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化したオリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用						
目的	PowerPointプレゼンテーション資料作成を実践的に学習することで、卒業研究や就職後に必要となるパソコンスキルの習得を目指す 動画作成、画像編集、HP作成をおこない、学校の紹介や就職後に役立つSNSスキルを習得する						
科目概要	後期前半 PowerPointを活用したプレゼンテーション資料の作成 / 後期後半:動画作成、画像編集、HP作成						
到達目標	・PowerPointを利用して訴求力のあるプレゼンテーションの為の効果的なスライドを作成できる ・Canvaのアプリを活用して、動画作成、画像編集できる ・Jimdoのアプリを活用してHPを作成できる						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 □口頭試験 ■実技試験 □その他()						
教科書	オリジナルのe-learningテキストを使用			事前事後学習と その内容	事後学習として、e-learning教材の文章説明や動画を活用して操作手順を復習する		
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	Word差込印刷機能を活用できる	演習	ラベルの作成
2	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる1	演習	1.テーマとバリエーション、2.プレースホルダー、3.箇条書きのレベル変更 4. スライド、5.ノートの作成
3	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる2	演習	1.テーマとバリエーション、2.プレースホルダー、3.箇条書きのレベル変更 4. スライド、5.ノートの作成
4	図形や画像を活用したスライドを作成できる	演習	1.ワードアート、2. 画像の挿入、3. テキストボックス 4.図形作成、5.図形の調整、6.図形の書式設定、7.削除
5	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる	演習	1.画面切り替え効果の設定、2.アニメーション効果の設定 3. スライドショー、4. 印刷、5.リハーサル
6	作成したスライドを訴求力のある内容にブラッシュアップできる	演習	文字サイズや色の変更、アニメーションの設定や図解の活用
7	レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる	演習	図解の利点、SmartArtグラフィックの種類、画像の加工
8	作成したスライドを使って発表できる	演習	1.発表・評価
9	Gmailのアカウント取得 Canvaの基本的な操作方法を習得し、画像加工ができる	演習	Gmail取得、Canvaの使い方
10	Canvaを使用し画像加工ができる	演習	Canvaで画像使った画像加工
11	Canvaを使用し動画作成ができる	演習	Canvaで動画作成
12	自分で撮影した動画をCanvaを使用して編集できる	演習	撮影した動画をCanvaで編集
13	Jimdoのアカウントが取得できる Jimdoを使ってホームページの基礎を習得し、トップページが作成できる	演習	ホームページを作る
14	Jimdoを使ってホームページの詳細ページを作成できる	演習	ホームページを作る
15	定期試験制作物作成(画像加工・ホームページ作成)	演習	ホームページを完成させる

科目名 (英)	医療保険と関連法規Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	水野早苗
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	前期 金曜日 7時限
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ						
目的	医療に関与するすべての業務は、何らかの医療関連法規に基づき行われています。この授業は、医療秘書又は医療事務に不可欠な関連法規を理解し、一般的な医事業務を遂行できる技能を身につけることを目指します。						
科目概要	医療秘書・医療事務職に不可欠な関連法規の基礎的知識に加えて、実務における一般的な業務を遂行できる技能を身につける。 医療事務系の資格取得を目指す目的において、医療保険制度の領域に対応できる。						
到達目標	医療秘書・医療事務職に不可欠な関連法規の基礎的知識に加えて、実務における一般的な業務を遂行できる技能を身につけることができる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	最新「医療関連法の完全知識 2023年版」医学通信社			事前事後 学習と その内容	該当範囲を授業復習すること。教科書、ノートなどをまとめるなど各自工夫すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	わが国の社会保障制度と医療保険制度	講義	社会保障制度の目的を理解できる。 医療保険制度の特徴を理解できる。
2	医療保険各法	講義	医療保険の種類を理解できる。 医療保険各法の特徴を理解できる。
3	健康保険法(本法の目的)	講義	健康保険事業の設立、目的を理解できる。 保険者、被保険者・被扶養者を区別できる。
4	保険医療機関及び保険医	講義	保険医療機関の開設許可について理解できる。 保険医療機関・保険医等の責務を理解できる。
5	保険医療機関及び保険医療養担当規則(健康保険法)	講義	保険医療機関の主な療養担当規則を理解できる。 保険医の主な療養担当規則を理解できる。
6	保険給付のしくみ(健康保険法)	講義	保険給付の種類を理解できる。 現物給付と現金給付を区別できる。
7	療養の給付(健康保険法)	講義	療養の給付(現物給付)の仕組みを理解できる。 一部負担金(自己負担額)の計算方法を理解できる。 療養費として支給される例について理解できる。
8	中間チェック		
9	保険外併用療養費(健康保険法)	講義	評価療養の概要を理解できる。 患者申出療養の概要を理解できる。 選定療養の概要を理解できる。
10	高額療養費制度(健康保険法)	講義	高額療養費制度の目的と現物給付化について理解できる。 高額療養費の自己負担額の計算方法を理解できる。
11	その他の療養費の支給 (健康保険法)	講義	訪問看護療養費の目的と支給内容を理解できる。 移送費の目的と支給内容を理解できる。 埋葬料、埋葬費の目的と支給内容を区別できる。
12	所得保障に関連する現金給付 (健康保険法)	講義	傷病手当金の目的を理解できる。 傷病手当金の受給条件を理解できる。
13	妊娠、出産に関連する現金給付 (健康保険法)	講義	出産育児一時金の目的と受給条件を理解できる。 出産手当金の目的と受給条件を理解できる。
14	保険の給付制限 (健康保険法)	講義	資格喪失後の給付について理解できる。 第三者行為による傷病等の流れを理解できる。
15	定期試験		

科目名 (英)	歯科臨床概論 basic knowledge of Tooth and oral cavity	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	永井 里枝
		授業形態	講義		有		
学科・コース	歯科助手学科	時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
		単位	2			曜日/時間	月曜日/7限
講師紹介	歯科衛生士として一般診療所にて豊富な実務経験を有する。2020年度より歯科衛生士専任教員。						
目的	「デンタルアテンダント」認定資格取得に必要な、歯科臨床の知識を得る。						
科目概要	歯科診療補助に必要な、歯科臨床の概要を知る。						
到達目標	「デンタルアテンダント」認定資格取得に必要な、歯科臨床の知識を得ることができる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	おしごとハンドブック クインテッセンス出版			事前事後 学習と その内容	事後学習として、授業の最後に実施する小テストを復習し、授業で得た知識の定着を行う。		
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	歯・口腔分野の基礎知識	講義	口腔関連組織の名称 歯周組織と歯の構造
2	歯・口腔分野の基礎知識	講義	歯科医院で行う検査
3	う蝕予防処置	講義	ブラークコントロール
4	う蝕に関する知識	講義	う蝕とは何か
5	保存修復の概要	講義	う蝕治療について 切削器具について
6	直接法修復	講義	直接修復の流れ 直接修復で使用する器具器材
7	間接修復	講義	間接修復の流れ 間接修復で使用する器具器材
8	歯内療法(直接抜髄法)	講義	歯内療法について 直抜抜髄法の流れ
9	歯内療法(根管充填法)	講義	直接抜髄法で使用する器具器材 根管充填の流れ 根管充填法で使用する器具器材
10	補綴治療①	講義	固定性補綴装置 印象採得・咬合採得
11	補綴治療②	講義	義歯
12	歯周治療に関する知識	講義	歯周病の病態と治療法
13	インプラント	講義	インプラントとは インプラントと治療の流れ
14	口腔外科に関する知識	講義	抜歯の流れ 抜歯で使用する器具器材
15	定期試験		

科目名 (英)	人体の仕組みと働き	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	加藤 由梨乃
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	前期
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	水曜日 7限
講師紹介	歯科衛生士免許取得後、都内の自由診療中心の歯科医院で勤務し豊富な実務経験を有する。主任として後輩育成にも携わりその後本校の教員として入職。						
目的	「デンタルアテンダント」認定資格取得に必要な、歯科臨床の知識を得る。 医療従事者として必要な人体の仕組みと働きについての知識を得て、歯科臨床の現場で戸惑うことなく従事できるようになる。						
科目概要	人体の仕組みと働きを理解し歯科臨床に必要な知識を習得する。						
到達目標	「デンタルアテンダント」認定資格取得に必要な、歯科臨床の知識を得る。 医療従事者として必要な人体の仕組みと働きについての知識を得る。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	おしごとハンドブック クインテッセンス出版			事前事後 学習と その内容	事後学習として、授業の最後に実施する小テストを復習し、授業で得た知識の定着を行う。		
参考図書	最新 歯科衛生士教本 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学						
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	人体の基本構造	講義	・人体を構成する器官系の分類 ・骨の機能と構造 ・反射の役割
2	消化・吸収	講義	・消化管の基本構造 ・消化管運動と調節機能
3	循環	講義	・体循環と肺循環 ・血液を構成する成分 ・心臓の基本的構造
4	循環	講義	・血圧を調整する仕組み ・リンパ系の構造と機能
5	バイタルサインの測定方法	講義	・体温測定 ・呼吸測定 ・血圧測定 ・脈拍測定
6	口腔の構造	演習	・歯・口腔分野の基礎知識 ・口腔を構成する骨
7	顔面領域の感覚	講義	・感覚とは ・口腔顔面痛 ・口腔感覚
8	中間試験		1～7回講義内容から出題
9	歯の構造	講義	・歯の種類と名称 ・歯冠と歯根の形態 ・歯を構成する硬組織
10	歯の構造	講義	・歯の種類と名称 ・歯冠と歯根の形態 ・歯を構成する硬組織
11	歯周組織	講義	・歯周組織の構造 ・歯周組織の働き
12	歯周組織	講義	・歯周組織の構造 ・歯周組織の働き
13	う蝕の成り立ち	講義	・う蝕とは ・う蝕のメカニズム ・う蝕の分類
14	歯周病の成り立ち	講義	・歯周病とは ・歯周病のメカニズム ・歯周病の分類
15	定期試験	講義	(講義内容全範囲から出題)

科目名 (英)	発達心理学 Developmental Psychology	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	藤林 殊巳(ふじばやしことみ)
		授業形態	講義				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	火曜日・6限
講師紹介	幼稚園教諭として勤務ののち、大手新聞社資料記者として様々な角度から、日本を見つめる。現在もカウンセラーとして教育業界に長く関わり、生涯学習教室を33年経営している実務家教員である。 非常勤講師としても5校の教鞭をとるかたわら、3代続く家業の女将としても経営に関わる講師が行う安心感のある授業です。 講師は、文部科学大臣より生涯功労者賞受賞し、様々な角度からコミュニケーション力・人間力・生きる力が身につく講義です。						
目的	こどもクリニックなどで接遇する際、適切な対応を目指す。						
科目概要	こどもの心を理解する。						
到達目標	いかに社会が変化しようとも、こどもは、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら遊び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題解決し、資質や能力、他人とも協調し、他者を思いやる心や感動する心を持っています。幼少期のこどもの心の奥深くを理解することで、就職後もスムーズな対応ができるよう様々な角度からこどもの心を理解する。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書				事前事後 学習と その内容	毎回、院内で遊べる楽しい遊び(伝承遊び・折り紙など) 不思議なマジックを身につけます。		
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	発達理論の枠組みの理解	講義	幼児教育の五領域に基づき、こどもの心を学ぶ。(楽しいマジックパート1)
2	胎児の発達	講義	情操教育の大切さを学ぶとともに、妊婦の気持ちを理解する。(楽しいマジックパート2)
3	乳幼児期の発達	講義	近年、低出生体重児やアレルギー児など、特別な配慮が必要なこどもがよく見かけられます。 保護者からの情報提供の方法などを学びます。(楽しいマジックパート3)
4	幼児期の発達	講義	このころのこどもの行動で一番配慮が必要な事故、待合室で事故が起こらないような環境設定を学ぶ。(楽しいマジックパート4)
5	児童期の発達	講義	育ちとしての統一「こどもの芽生え、健やかな育ち」を冒頭に置きながら、発達の流れ及び育ちの道筋を抑え、学年にふさわしい生活を営むことの大切さを学ぶ。(楽しいマジックパート5)
6	青年期の発達	講義	思春期について学ぶ。(楽しいマジックパート6)
7	親子関係の発達	講義	父親の気持ち、母親の気持ちを学ぶ。(楽しいマジックパート7)
8	定期テスト		7回の授業で学んだことを記述する。
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名 (英)	高齢者の理解	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	吉江孝行
		授業形態	講義				
		時間数	15	授業回数	8	開講区分	前期
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	火曜6限
講師紹介	特別養護老人ホームで介護職員(3年)・生活相談員(10年)・施設長(15年)としての実務経験を有する実務家教員である。						
目的	歯科医院の患者様は高齢者も多く、診療を補助する際にも、接遇の場面にも、高齢者の身体的・社会的な特徴を知ることが、高齢者に安心して治療に専念していただくためにも重要である。この講座では、高齢者の身体的・社会的特徴を知り、高齢者が安心して通院できる接遇とは何かを考えることを目的とする。						
科目概要	高齢者とはなにか、高齢者の福祉制度、高齢者対応をする上で必要な知識を学ぶ。						
到達目標	高齢者理解、高齢者福祉制度、高齢者対応の基礎知識を理解することができる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	授業前後で予習と復習をする。		
参考図書	新・介護福祉士養成講座1「人間の理解」 中央法規 他						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	高齢者とは①	講義	日本の人口構造、高齢者の特徴、人間関係の形成に必要な自己覚知や自己開示
2	高齢者とは②	講義	どのように他者や集団とかかわりながら成長するのか
3	高齢者の福祉制度①	講義	介護保険法①
4	高齢者の福祉制度②	講義	介護保険法②
5	高齢者の福祉制度③	講義	老人福祉法やその他の法律
6	高齢者対応に必要な知識①	講義	対人援助における基本的態度
7	高齢者対応に必要な知識②	講義	援助的人間関係の形成とバイステックの7原則
8	定期試験		

科目名 (英)	歯科器材オペレーション実習	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	多賀谷 絵美
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	金曜日 7限
講師紹介	保有資格: 歯科衛生士 経歴: 2000年歯科衛生士免許取得、歯科医院勤務の傍ら障害者・児診療に従事。 2013年より総合病院にて歯科口腔外科の立ち上げ、病棟での重症患者の口腔ケアに従事。豊富な実務経験を有する。2022年より専任教員として勤務						
目的	医療人としての意識を持ち、歯科診療に係る一員として歯科助手の役割を理解し、歯科診療中の急な器材トラブルに即時に対応する 広い視野を持ち常に周囲に気を配れる人材となり、現場で即戦力となる 歯科診療に用いる器材の管理を行い、患者に安全な診療を提供する						
科目概要	歯科診療機器を取り扱える知識を習得する						
到達目標	医療人としての意識を持ち、歯科診療に係る一員として歯科助手の役割を理解する 歯科診療中の急な器材トラブルに即時に対応できるスキルを習得する 歯科診療に用いる器材の管理を行い、患者に安全な診療を提供するために必要な知識・技術・態度を習得する						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書				事前事後 学習と その内容	事後学習として、授業の最後に実施する小テストを復習し、授業で得た知識の定着を行う。		
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	歯科助手と歯科器材の関わり	講義	・歯科助手業務と歯科器材の関り ・歯科診療室において歯科助手の役割
2	歯科用ユニットの取り扱い	演習	・歯科用ユニットのメカニズム ・口腔外パキュームのメカニズム ・始業・終業点検項目
3	歯科用ユニットの周辺機器	演習	・超音波スケーラーのメカニズム ・エアーポリッシャーのメカニズム ・マイクロスコープのメカニズム
4	切削機器の取り扱い	演習	・切削機器の種類 ・切削機器のメカニズム ・ハンドピース専用洗浄機のメカニズム
5	歯科用レーザーの取り扱い	演習	・歯科用レーザーの種類 ・歯科用レーザーのメカニズム
6	滅菌・消毒機器の取り扱い	演習	・ウォッシュャーディスインフェクターのメカニズム ・オートクレーブ滅菌機のメカニズム ・超音波洗浄機のメカニズム
7	急変時の対応	演習	・AEDの取り扱い ・モニターのメカニズム
8	放射線機器の取り扱い	演習	・歯科用レントゲン機器のメカニズム ・CT/MRI撮影
9	口腔内スキャナー・カメラの取り扱い	演習	・口腔内スキャナーのメカニズム ・口腔内撮影カメラのメカニズム
10	CAD/CAMテクノロジーの取り扱い	演習	・CAD/CAMテクノロジーのメカニズム
11	ポータブルユニットの取り扱い	演習	・歯科用ポータブルユニットのメカニズム ・歯科用ポータブルユニットのセッティング
12	インプラント機器の取り扱い	演習	・インプランターのメカニズム ・ドリル類のメンテナンス方法
13	ホワイトニング機器の取り扱い	演習	・照射機器のメカニズム
14	マイクロスコープの取り扱い	演習	・マイクロスコープのメカニズム
15	定期試験	講義	筆記試験(講義内容全範囲から出題)

科目名 (英)	デンタルアシスタント演習Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	星野 悠
		授業形態	講義		有	開講区分	前期
		時間数	30	授業回数	15		
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	木曜 6.7限
講師紹介	保有資格: 歯科衛生士 略歴: 歯科衛生士として総合病院勤務を経て、訪問歯科診療に専従していた。豊富な現場経験を有する。2014年より歯科衛生士専任教員。多職種連携の現場経験より、それぞれのコデンタルが専門性の汎用を図るべく「考える力」を身につける必要があると考える。						
目的	この授業では歯科臨床現場で必要な手技の獲得だけでなく、様々な歯科助手業務へつなげるための応用力を身につけるためのワークを盛り込んでいます。有意義な授業としていくために次の3項目を念頭において授業に臨んでください。 1.気持ちの良い挨拶をする 2.忘れ物をしない 3.身だしなみを整える						
科目概要	「デンタルアテンダント」認定資格取得に必要な、チェアサイドアシスタントワーク手技を習得する。						
到達目標	「デンタルアテンダント」認定資格取得に必要な、チェアサイドアシスタントワーク手技を習得する。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	歯科診療補助論 医歯薬出版			事前事後 学習と その内容	教科書やノートを、学習範囲まで予習、復習すること。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画				
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容	
1	医療安全と感染予防	講義	・歯科診療補助の法的範囲について選択できる ・感染経路および感染予防の原則について列挙できる	
2	医療安全と感染予防	講義	・スタンダードプレコーションについて実践できる ・感染リスクに応じた器具の消毒・滅菌を実践できる	
3	歯科診療室の設備と共同動作	講義	・医療廃棄物の取り扱いについて選択できる ・歯科診療室の設備について列挙できる	
4	歯科診療室の設備と共同動作	講義	・歯科用チェアユニットの操作を実践できる ・ライティング、バキューム操作が実践できる	
5	歯科材料の基礎知識と取り扱い(印象材・模型材)	講義	・各種印象材の特徴、使用用途について選択できる ・アルジネート印象材の取り扱いを実践できる	
6	歯科材料の基礎知識と取り扱い(印象材・模型材)	講義	・歯科模型材の特徴、使用用途について選択できる ・歯科用石膏の取り扱いを実践できる	
7	歯科材料の基礎知識と取り扱い(セメント)	講義	・各種合着材、接着材、仮封材の特徴、使用用途について選択できる	
8	歯科材料の基礎知識と取り扱い(セメント)	講義	・基本的なセメント練和を実践できる	
9	修復治療・歯内療法時のチェアサイドアシスタントワーク	講義	・修復治療・歯内療法時の使用器具について列挙できる	
10	修復治療・歯内療法時のチェアサイドアシスタントワーク	講義	・修復治療・歯内療法時のチェアサイドアシスタントワークを実践できる	
11	歯科麻酔と口腔外科治療のチェアサイドアシスタントワーク	講義	・歯科麻酔・抜歯術時の使用器具について列挙できる	
12	歯科麻酔と口腔外科治療のチェアサイドアシスタントワーク	講義	・抜歯術時のチェアサイドアシスタントワークを実践できる	
13	補綴治療時のチェアサイドアシスタントワーク	講義	・補綴治療時の使用器具について列挙できる	
14	補綴治療時のチェアサイドアシスタントワーク	講義		
15	定期試験			

科目名 (英)	デンタルアシスタント演習Ⅱ Assists in medical exminationⅡ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	永井 里枝
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	木曜日/6限、7限:対面
講師紹介	歯科衛生士として一般診療所にて豊富な実務経験を有する。2020年度より歯科衛生士専任教員。						
目的	医療人としての意識を持ち、歯科診療に係る一員として歯科助手の役割を理解し、アシスタント業務を行う。 広い視野を持ち常に周囲に気を配れる人材となり、現場で実践力となる。 歯科診療をアシストするための技術を修得する「デンタルアテンダント検定」の実技試験を取得する。						
科目概要	歯科診療をアシストするための技術を修得する。						
到達目標	医療人としての意識を持ち、歯科診療に係る一員として歯科助手の役割を理解する。 歯科診療中に使用する材料について知識や技術を習得する。 「デンタルアテンダント検定」の実技試験を取得するために必要な知識・技術を習得する。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書				事前事後 学習と その内容			
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	歯科材料/合着材・接着材	演習	歯科材料について 各種合着材・接着剤の特徴、使用用途、取扱いについて
3・4	印象材	演習	各種印象材の特徴、使用用途、取扱いについて
5・6	模型材	演習	模型材の特徴、使用用途、取扱いについて
7・8	中間試験		印象材の練和から模型作製/咬合採得について
9・10	「デンタルアテンダント検定」直前講習	演習	印象材の練和から模型作製/咬合採得について
11・12	「デンタルアテンダント検定」実技試験	演習	「デンタルアテンダント検定」実技試験
13・14	仮封材	演習	仮封材の特徴、使用用途、取扱いについて
15	定期試験		1回から14回の範囲にて出題

科目名 (英)	デンタルアシスタント演習Ⅲ Assists in medical exminationⅢ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	永井 里枝
		授業形態	講義		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	木曜日/6限、7限:対面
講師紹介	歯科衛生士として一般診療所にて豊富な実務経験を有する。2020年度より歯科衛生士専任教員。						
目的	医療人としての意識を持ち、歯科診療に係る一員として歯科助手の役割を理解し、アシスタント業務を行う。 広い視野を持ち常に周囲に気を配れる人材となり、現場で実践力となる。 歯科診療をアシストするための知識や技術を習得する。						
科目概要	歯科診療をアシストするための知識や技術を習得する。						
到達目標	医療人としての意識を持ち、歯科診療に係る一員として歯科助手の役割を理解する。 歯科診療のアシスタントスキルを習得する。 歯科診療をスムーズに行うために必要な知識・技術を習得する。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書				事前事後 学習と その内容			
参考図書							
特記事項							

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	医療安全と感染予防	演習	スタンダードプレコーションについて
3・4	歯科診療室の設備と共同動作	演習	歯科診療室の設備について 共同動作の目的
5・6	修復治療・歯内療法時のチェアサイドアシスタントワーク	演習	修復治療について 歯内療法について 修復治療、歯内療法の術式や取り扱う器材について
7・8	歯科麻酔と口腔外科治療のチェアサイドアシスタントワーク 中間試験		歯科麻酔について 口腔外科について 歯科麻酔、口腔外科の術式や取り扱う器材について
9・10	補綴治療時のチェアサイドアシスタントワーク	演習	補綴治療について 補綴治療の術式や取り扱う器材について
11・12	エックス線撮影のチェアサイドアシスタント	演習	エックス線撮影について エックス線撮影時の歯科助手の役割
13・14	配慮が必要な患者の対応	演習	配慮が必要な患者について バイタルサインについて
15	定期試験		1回から14回の範囲にて出題

科目名 (英)	トリートメントコーディネーター初級	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	日本歯科TC協会
		授業形態	講義		有	開講区分	後期
		時間数	15	授業回数	8		
学科・コース	歯科助手学科	単位	1		曜日/時間	金曜6限	
講師紹介	一般社団法人日本歯科TC協会は、歯科医師を含む歯科医療従事者全般に対し、体系的な生涯学習の場を提供し、時代の要請に合った医療サービスの提供とはじめ、歯科臨床現場で役立つ最新の専門知識と技術や、チーム医療に必要なコミュニケーション能力の向上、また医療の健全なる経営にまで踏み込んだマネジメント能力の育成など総合的な見地から教育をおこなっている。担当する講師は歯科医療現場で活躍する、歯科医師、歯科衛生士、歯科助手などが務める。						
目的	トリートメントコーディネーター®(Treatment Coordinator)は治療者と患者様双方にとって満足のいく治療を進めるための調整を行う人材で、米国では(クラークとも呼ばれる)名称として確立されている。高度なコミュニケーション能力で患者様へのカウンセリング、プレゼンテーションを行うだけでなく、時には支払いについてのファイナンス計画まで立案する。基礎的な知識やマインドを身につける。						
科目概要	日本歯科TC協会が実施するTC資格認定制度は歯科医院にとって必要不可欠な「患者コミュニケーション」「最新治療、最新予防」「医院経営」についての講習会及び認定試験を行う制度です。そのうちActive Leader資格の取得を目指すものである。						
到達目標	AL資格はTC資格認定制度の登竜門となる資格です。トリートメントコーディネーターとしての基礎知識、心構えを持つために講習会に参加し、論文試験に合格する必要がある。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	トリートメント・コーディネーターその仕事と役割			事前事後 学習と その内容	授業回ごとのテキスト該当範囲を事前に読了しておくこと。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	トリートメント・コーディネーターを目指す皆さんへ(松尾通)	講義	TC(トリートメントコーディネーター)の仕事に必要なスキルを学び、資格を取得することでどのようにキャリアアップできるのか。
2	歯科医師“経営者、医療提供者”がTCに期待する役割(泉美紀)	講義	医院を活性化させTC(トリートメントコーディネーター)自身の人生も豊かになるコミュニケーション。
3	TCに必要とされる要件(澤泉奈美子)	講義	歯科医院の中で、マネージャーでなくリーダー(指導者)として院内のスタッフを引っ張っていくこと。
4	歯科医院で選ばれるTCとは(菊地多佳子)	講義	5ステップを実践して、歯科医院を活性化するために。
5	歯と栄養学(宮内夏絵)	講義	歯と栄養で健康長寿のサポートを担うための大切な人材がトリートメントコーディネーター。
6	院内リスクマネジメント(荒川泰子)	講義	TC(トリートメントコーディネーター)が、高い意識をもって日々の業務に取り組み、リスクマネジメントの担い手となる。
7	“歯科医院の顔”TCのイメージ戦略(渡邊容子)	講義	自分の見た目を戦略的につくることとTCのイメージ。
8	資格試験(定期試験)		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

科目名 (英)	現場実践演習(歯科助手)	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	担任
		授業形態	演習		有		
		時間数	150	授業回数		開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	10			曜日/時間	
講師紹介	実習先の歯科医院等で豊富な実務経験を有するスタッフが実務指導を行う。						
目的	講義や演習で学んだ、歯科医療の現場で歯科助手として必要な「身構え・気構え・心構え」を実践し、振り返りをおこなう。						
科目概要	歯科医院等の現場に必要な「身構え・気構え・心構え」を実践する場として、歯科医院等での実務実習を体験する。具体的には患者様の接遇、受付、診療補助、院内清掃等である。また実習を実践して報告書を提出する。						
到達目標	患者様対応の基本となる「接遇マナー」が実践できる。またスタッフとのコミュニケーションを円滑におこなえるよう「コミュニケーションスキル」を実践する。さらに基本的な「アシスタント」業務が滞りなく通りできるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	実習前に、実習先の歯科医院等について調べ学習をおこなう。また実習後には実習内容と振り返る報告書を作成、提出する。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	歯科助手実践演習①	演習	実習前教育
2	歯科助手実践演習②	演習	歯科医院等で働くスタッフの仕事を知る。
3	歯科助手実践演習③	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を知る。
4	歯科助手実践演習④	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助する。
5	歯科助手実践演習⑤	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助し、役割を担う。
6	歯科助手実践演習⑥	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助し、役割を担う。
7	歯科助手実践演習⑦	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助し、役割を果たす。
8	歯科助手実践演習⑧	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を担って、役割を果たす。
9	歯科助手実践演習⑨	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を担って、役割を果たす。
10	歯科助手実践演習⑩	演習	実習後教育
11			
12			
13			
14			
15			

科目名 (英)	現場実践演習(美容医療)	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	担任
		授業形態	演習		有		
		時間数	150	授業回数		開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	10			曜日/時間	
講師紹介	実習先の医院等で豊富な実務経験を有するスタッフが実務指導を行う。						
目的	講義や演習で学んだ、美容医療・歯科医療の現場で歯科助手として必要な「身構え・気構え・心構え」を実践し、振り返りをおこなう。						
科目概要	美容クリニック・歯科医院等の現場で必要な「身構え・気構え・心構え」を実践する場として、美容医療、歯科医院等での実務実習を体験する。具体的には患者様の接遇、受付、診療補助、院内清掃等である。また実習を実践して報告書を提出する。						
到達目標	患者様対応の基本となる「接遇マナー」が実践できる。またスタッフとのコミュニケーションを円滑におこなえるよう「コミュニケーションスキル」を実践する。さらに基本的な「アシスタント」業務が滞りなく一通りできるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	実習前に、実習先の美容クリニック・歯科医院等について調べ学習をおこなう。また実習後には実習内容と振り返る報告書を作成、提出する。		
参考図書	なし						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	美容医療実践演習①	演習	実習前教育
2	美容医療実践演習②	演習	歯科医院等で働くスタッフの仕事を知る。
3	美容医療実践演習③	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を知る。
4	美容医療実践演習④	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助する。
5	美容医療実践演習⑤	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助し、役割を担う。
6	美容医療実践演習⑥	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助し、役割を担う。
7	美容医療実践演習⑦	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を補助し、役割を果たす。
8	美容医療実践演習⑧	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を担って、役割を果たす。
9	美容医療実践演習⑨	演習	歯科医院等で働く歯科助手の仕事を担って、役割を果たす。
10	美容医療実践演習⑩	演習	実習後教育
11			
12			
13			
14			
15			

科目名 (英)	医療保険と関連法規Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目責任者	水野早苗		
		授業形態	講義		有	開講区分	前期		
		時間数	15	授業回数	8		曜日/時間	前期	金曜日
学科・コース	歯科助手学科	単位	1						
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ								
目的	医療等を担当する医療機関は多くの制度と密接な関係があります。医事業務にかかわるものにとって、取り扱う頻度が高いと考えられる法制度をとりあげ、その目的や仕組みについて理解を深めます。								
科目概要	医事業務において取り扱う頻度が高いと考えられる法制度について、一応の対応ができるように実践的な技能を身につけます。 医療事務系の資格取得を目指す目的において、医療保険制度の領域に対応できる。								
到達目標	医事業務において取り扱う頻度が高いと考えられる法制度について、一応の対応ができるように実践的な技能を身につけることができる。								
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()								
教科書	最新「医療関連法の完全知識 2023年版」医学通信社				事前事後 学習と その内容	教科書を中心に復習をおこなう。各回の授業内容を授業終了後に振り返ること。			
参考図書	なし								
特記事項	なし								

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	労働者災害補償保険法	講義	労働者災害補償保険法の仕組みを理解できる。 業務災害と通勤災害の適用を区別できる。
2	自動車損害賠償保障法	講義	自動車保険の仕組みを理解できる。 自動車保険の請求手続きの方法を理解できる。
3	公費負担医療制度の概要	講義	公費負担医療制度の目的別に区別できる。 公費負担医療制度を費用別に区別できる。
4	感染症予防法	講義	感染症予防法の概要を理解できる。 医療保険給付、公費負担と患者負担の割合を理解できる。
5	新型インフルエンザ対策特別措置法	講義	新型インフルエンザ対策特別措置法の概要を理解できる。 新型インフルエンザ対策特別措置法の一部改正(新型コロナ特別措置法)について理解できる。
6	生活保護法	講義	生活保護法の概要を理解できる。 保護の種類と給付の範囲を理解できる。
7	難病医療法	講義	難病医療法の概要を理解できる。 医療保険給付、公費負担と患者負担の割合を理解できる。
8	定期試験		

科目名 (英)	診療報酬請求事務Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	水野早苗
		授業形態	講義		有	開講区分	前期
		時間数	60	授業回数	30		曜日/時間
学科・コース	歯科助手学科	単位	4				
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ						
目的	T化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
科目概要	T化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
到達目標	歯科診療報酬点数表の内容を理解し、診療録(カルテ)にもとづいて、診療内容の算定を正しく作成する力を身につけ、医療事務技能認定試験の合格を目標とする。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	歯科診療報酬点数表(社会保険研究所)			事前事後 学習と その内容	すべての試験(検定試験、小テスト、定期試験)が資料持込可で実施されるので、毎回の授業資料をファイリングし、すぐに参考できるように工夫してください。		
参考図書	無						
特記事項	無						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	初診・再診	講義	・初診、再診における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
3・4	投薬	講義	・診療報酬請求における薬の分類について説明できる ・薬剤情報提供料について説明できる
5・6	注射	講義	・注射における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
7・8	画像診断	講義	・画像診断における点数算定の考え方を習得し、カルテにもとづく点数算定ができる
9・10	医学管理	講義	・医学管理における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
11・12	医学管理	講義	・医学管理における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
13・14	検査	講義	・検査における点数算定の考え方を習得し、カルテにもとづく点数算定ができる
15	中間チェック	講義	・初診、再診、投薬、注射、画像診断、検査 医学管理のレセプト記載方法を習得する
16・17	レセプト作成	講義	・処置・手術・麻酔における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
18・19	処置・手術・麻酔	講義	・処置・手術・麻酔における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
20・21	処置・手術・麻酔	講義	・処置・手術・麻酔における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
22・23	処置・手術・麻酔	講義	・歯冠修復における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
24・25	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
26・27	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
28・29	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる

科目名 (英)	診療報酬請求事務Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	水野早苗
		授業形態	講義		有		
		時間数	45	授業回数	23	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	3			曜日/時間	月曜6, 7限
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ						
目的	IT化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
科目概要	IT化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
到達目標	歯科診療報酬点数表の内容を理解し、診療録(カルテ)にもとづいて、診療内容の算定を正しく作成する力を身につけ、医療事務技能認定試験の合格を目標とする。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	歯科診療報酬点数表(社会保険研究所)			事前事後 学習と その内容	すべての試験(検定試験、小テスト、定期試験)が資料持込可で実施されるので、毎回の授業資料をファイリングし、すぐに参考できるように工夫してください。		
参考図書	無						
特記事項	無						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
3・4	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
5・6	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
7・8	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
9・10	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
11・12	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
13・14	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
15	中間チェック		
16・17	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
18・19	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
20・21	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
22・23	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
24・25			
26・27			
28・29			

科目名 (英)	医事コンピュータ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	水野早苗
		授業形態	演習		有	開講区分	
		時間数	15	授業回数	8		
学科・コース	歯科助手学科	単位	1			曜日/時間	前期 集中 火曜6.7限
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ						
目的	歯科診療所で使用されている医事コンピュータ、予約管理、カルテ管理等を含めた統合システムを実際に体験してみる。体験を通じて歯科での診療報酬請求や受付、予約等の実際の流れをイメージできる。						
科目概要	歯科助手を目指すために必要な、医事コンピュータの基本を学ぶ						
到達目標	病院・診療所で実際に使用されているシステムを理解し、請求事務以外の機能を使えるようになる。。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 □口頭試験 ■実技試験 □その他()						
教科書	無し			事前事後 学習と その内容	配布された資料を、学習範囲まで予習、復習すること。		
参考図書	無し						
特記事項	資料は毎時間ごとに配布						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	オリエンテーション	演習	歯科診療所で診療報酬請求がどのようにおこなわれているのか、また請求事務の電算システムの実際を理解する。
2	歯科医事コンピュータ演習①	演習	歯科診療所で実際に使用されているシステムを体験する。システムの基本操作について理解する。
3	歯科医事コンピュータ演習②	演習	歯科診療所で実際に使用されているシステムを体験する。システムの基本操作ができるようになる。
4	歯科医事コンピュータ演習③	演習	歯科診療所で実際に使用されているシステムを体験する。システムを使用して実際のカルテを入力できる。
5	歯科医事コンピュータ演習④	演習	歯科診療所で実際に使用されているシステムを体験する。システムを使用して実際のカルテを入力できる。
6	歯科医事コンピュータ演習⑤	演習	歯科診療所で実際に使用されているシステムを体験する。請求事務以外の機能について理解する。
7	歯科医事コンピュータ演習⑥	演習	歯科診療所で実際に使用されているシステムを体験する。請求事務以外の機能を使えるようになる。
8	定期試験		

科目名 (英)	診療報酬請求事務Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	水野早苗
		授業形態	講義		有	開講区分	前期
		時間数	60	授業回数	30		曜日/時間
学科・コース	歯科助手学科	単位	4				
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ						
目的	T化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
科目概要	T化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
到達目標	歯科診療報酬点数表の内容を理解し、診療録(カルテ)にもとづいて、診療内容の算定を正しく作成する力を身につけ、医療事務技能認定試験の合格を目標とする。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	歯科診療報酬点数表(社会保険研究所)			事前事後 学習と その内容	すべての試験(検定試験、小テスト、定期試験)が資料持込可で実施されるので、毎回の授業資料をファイリングし、すぐに参考できるように工夫してください。		
参考図書	無						
特記事項	無						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	初診・再診	講義	・初診、再診における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
3・4	投薬	講義	・診療報酬請求における薬の分類について説明できる ・薬剤情報提供料について説明できる
5・6	注射	講義	・注射における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
7・8	画像診断	講義	・画像診断における点数算定の考え方を習得し、カルテにもとづく点数算定ができる
9・10	医学管理	講義	・医学管理における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
11・12	医学管理	講義	・医学管理における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
13・14	検査	講義	・検査における点数算定の考え方を習得し、カルテにもとづく点数算定ができる
15	中間チェック	講義	・初診、再診、投薬、注射、画像診断、検査 医学管理のレセプト記載方法を習得する
16・17	レセプト作成	講義	・処置・手術・麻酔における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
18・19	処置・手術・麻酔	講義	・処置・手術・麻酔における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
20・21	処置・手術・麻酔	講義	・処置・手術・麻酔における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
22・23	処置・手術・麻酔	講義	・歯冠修復における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
24・25	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
26・27	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
28・29	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる

科目名 (英)	診療報酬請求事務Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	水野早苗
		授業形態	講義		有	開講区分	
		時間数	45	授業回数	23		
学科・コース	歯科助手学科	単位	3				曜日/時間
講師紹介	略歴:医療機関の医事課及び業務指導者として勤務(11年)、その後、診療報酬請求における精度調査及び分析等に携わる企業に勤務(10年)した、現場での豊富な経験を有する実務教員である。 保有資格:診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定、情報処理技術者試験第二種、初級システムアドミニストレータ						
目的	IT化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
科目概要	IT化が進んでいる医療現場においても、診療報酬請求の知識・技術が重要であることを踏まえその業務にも直結する内容や演習を本授業では扱っていく。						
到達目標	歯科診療報酬点数表の内容を理解し、診療録(カルテ)にもとづいて、診療内容の算定を正しく作成する力を身につけ、医療事務技能認定試験の合格を目標とする。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	歯科診療報酬点数表(社会保険研究所)			事前事後 学習と その内容	すべての試験(検定試験、小テスト、定期試験)が資料持込可で実施されるので、毎回の授業資料をファイリングし、すぐに参考できるように工夫してください。		
参考図書	無						
特記事項	無						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
3・4	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
5・6	処置・手術・麻酔	講義	・各種傷病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
7・8	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
9・10	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
11・12	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
13・14	処置・手術・麻酔	講義	・歯周病における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
15	中間チェック		
16・17	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
18・19	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
20・21	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
22・23	処置・手術・麻酔	講義	・欠損補綴における点数算定の考え方を理解し、カルテにもとづく点数算定ができる
24・25			
26・27			
28・29			

科目名 (英)	デンタルアシスタント演習	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	星野 悠
		授業形態	演習		有		
		時間数	30	授業回数	15	開講区分	後期
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	火曜6、7限
講師紹介	保有資格: 歯科衛生士 略歴: 歯科衛生士として総合病院勤務を経て、訪問歯科診療に専従していた。豊富な実務経験を有する。2014年より歯科衛生士専任教員。多職種連携の現場経験より、それぞれのコデンタルが専門性の汎用を図るべく「考える力」を身につける必要があると考える。						
目的	この授業では歯科臨床現場で必要な手技の獲得だけでなく、様々な歯科助手業務へつなげるための応用力を身につけるためのワークを盛り込んでいます。有意義な授業としていくために次の3項目を念頭において授業に臨んでください。 1.気持ちの良い挨拶をする 2.忘れ物をしない 3.身だしなみを整える						
科目概要	「デンタルアテンダント」認定資格取得後に臨地実習に必要な「身構え・気構え・心構え」を身に付ける						
到達目標	「デンタルアテンダント」認定資格取得後に臨地実習に必要な「身構え・気構え・心構え」を身に付ける						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	歯科診療補助論 医歯薬出版			事前事後 学習と その内容	授業の予習復習を教科書、ノートを見直すなどで実施		
参考図書	おしごとハンドブック クインテッセンス出版						
特記事項	無						

授 業 計 画				
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容	
1	直接修復時(コンポジットレジン・グラスアイオノマー)のチェアサイドアシスタント	講義	・CRの際のチェアサイドアシスタントワークができる ・エックス線撮影のチェアサイドアシスタント ・直接修復時に使用する器材の特徴及び使用用途について選択できる	
2	直接修復時(コンポジットレジン・グラスアイオノマー)のチェアサイドアシスタント	演習	・CRの際のチェアサイドアシスタントワークができる ・エックス線撮影のチェアサイドアシスタント ・直接修復時に使用する器材の特徴及び使用用途について選択できる	
3	歯内療法時のチェアサイドアシスタント	講義	・麻抜の際のチェアサイドアシスタントワークができる・RCTの際のチェアサイドアシスタントワークができる ・RCFの際のチェア・歯内治療時に使用する器材の特徴及び使用用途について選択できるサイドアシスタントワークができる	
4	歯内療法時のチェアサイドアシスタント	演習	・麻抜の際のチェアサイドアシスタントワークができる・RCTの際のチェアサイドアシスタントワークができる ・RCFの際のチェア・歯内治療時に使用する器材の特徴及び使用用途について選択できるサイドアシスタントワークができる	
5	補綴治療時のチェアサイドアシスタント	講義	・In修復の際のチェアサイドアシスタントワークができる ・Br治療の際のチェアサイドアシスタントワークができる ・FD作成の際のチェアサイドアシスタントワークができる ・補綴治療時に使用する器材の特徴及び使用用途について選択できる	
6	補綴治療時のチェアサイドアシスタント	演習	・In修復の際のチェアサイドアシスタントワークができる ・Br治療の際のチェアサイドアシスタントワークができる ・FD作成の際のチェアサイドアシスタントワークができる ・補綴治療時に使用する器材の特徴及び使用用途について選択できる	
7	エックス線撮影のチェアサイドアシスタント	講義	・エックス線撮影時のセットアップ及び現像ができる ・エックス線画像の読影ができる	
8	エックス線撮影のチェアサイドアシスタント	演習	・エックス線撮影時のセットアップ及び現像ができる ・エックス線画像の読影ができる	
9	配慮が必要な患者の対応	講義	・バイタルサインの測定を実戦できる ・配慮が必要な患者の誘導および介助を実戦できる	
10	配慮が必要な患者の対応	演習	・バイタルサインの測定を実戦できる ・配慮が必要な患者の誘導および介助を実戦できる	
11	服薬と全身管理	講義	・各種薬物の服薬について説明できる ・服薬と基礎疾患の関連について選択できる	
12	服薬と全身管理	演習	・各種薬物の服薬について説明できる ・服薬と基礎疾患の関連について選択できる	
13	デンタルアテンダントまとめ	講義	・実際に「トリートメントコーディネーター」として活躍される方による講演を聴講し自身のキャリアについて思案できる ・就職活動に必要な「身構え・気構え・心構え」を身につける	
14	デンタルアテンダントまとめ	演習	・実際に「トリートメントコーディネーター」として活躍される方による講演を聴講し自身のキャリアについて思案できる ・就職活動に必要な「身構え・気構え・心構え」を身につける	
15	定期試験			

科目名 (英)	トータルビューティー基礎Ⅰ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	大瀬 順子
		授業形態	演習		有	開講区分	前期
		時間数	30	授業回数	15		
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	6/16～金曜日6.7限、8/21～月曜日6.7限
講師紹介	外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして豊富な実務経験を有する。現在はフリーランスとしてファッションショーのバックステージやMV、CM、等のメイクに携わり、またイベントメイクアップアーティストとしてもた活動。						
目的	ヘアメイク実務経験のある講師から肌の知識やメイクアップによる効果、基礎知識・技術を学び、習得し実践出来るようになる。						
科目概要							
到達目標	技術と知識を習得し、ヘアメイクでTPOや表情に合わせたセルフメイクとスタイリングをセルフプロデュース出来るようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 □筆記試験 □口頭試験 ■実技試験 □その他()						
教科書				事前事後 学習と その内容	授業後の復習を授業後に実施すること。		
参考図書							
特記事項	メモを取れる端末やノート類、筆記用具 持参 授業毎の持ち物についてはコマシラバス要確認						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	骨格	実習	自分の骨格、顔の形を知りし補正・修正の方法を学ぶ
2	似合うメイク、寄せるメイク	演習	自分の骨格に合うメイクを知った後、なりたい雰囲気メイクに近付けるし方法を知る
3	似合う色・パーソナルカラー	演習	パーソナルカラーを用いて自分に似合う色を知り、自身のメイクに応用する
4	スキンケア知識	講義	スキンケアの知識を増やし、季節での肌変化を知る 季節に応じた手入れ方法を学ぶ
5	季節メイク	演習	季節の肌と気候に合わせたメイク方法を学び、自身のメイクに応用する
6	パーツメイク	演習	パーツ〈眉・アイ・チーク・リップ〉の形の変化による顔の印象・見え方の違いを知る
7	イメージ別メイク	演習	イメージに合わせたメイクをセルフプロデュースし、プレゼンテーションが出来るようになる
8	中間テスト	演習	イメージ別プロデュースメイクを時間内に仕上げプレゼンテーションする
9	客層別年代年齢肌・悩み	講義	化粧品ブランドからブランディング・ターゲット客層を知り年代別年齢肌の悩みや、客層に合うセルフプロデュース力を磨く
10	美容クリニックの比較	演習	美容クリニックを比較し、クリニックの特徴やターゲット層を知り相応しい身だしなみやイメージに合うセルフメイクでセルフプロデュース力を磨く
11	美容クリニックメニュー	講義	美容クリニックのメニューの内容を知り、年齢・肌悩みに合うメニューと解決策を考え学ぶ
12	ヘアアレンジ	演習	トータルでセルフプロデュースをするにあたってのヘアアレンジを学習する
13	業種別ヘアメイク	演習	業種・会社のイメージを理解し、合わせたヘアメイクをセルフプロデュースしプレゼンテーションする
14	定期テスト練習	演習	課題に合わせたセルフプロデュースヘアメイクを練習する
15	定期テスト	演習	課題に合わせた内容を時間内に仕上げ完成させる

科目名 (英)	トータルビューティー基礎Ⅱ	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	深井ルミ
		授業形態	講義		有		
		時間数	45	授業回数	23	開講区分	
学科・コース	歯科助手学科	単位	3			曜日/時間	月曜
講師紹介	25年以上現場でのメイクアップの仕事に携わり、豊富な実務経験を有する。複数の美容専門学校で15年以上メイク技術、化粧品、肌知識、スキンケア知識の授業を担当。基礎知識以外にも美容の楽しさやトレンドなどを伝えていくことも重要と考える。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。						
目的	美容医療に携わる者として最低限知っておかなければならない、皮膚や化粧品に関係する知識を身につける。美容のトレンドなどにも触れ、幅広く美容に興味を持つ。						
科目概要	皮膚構造、化粧品アイテム、肌トラブルとそれに対しての有効成分や美容施術について学ぶ。						
到達目標	皮膚構造、スキンケアアイテム、化粧品成分、肌トラブルについて知り、肌悩みについて適切なアイテムやスキンケア方法が分かるようになる。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	無			事前事後 学習と その内容	授業内容に関する小テストを授業最後に実施し、授業で得た知識の定着を行う。		
参考図書	無						
特記事項	無						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1・2	10/16 オリエンテーション / スキンケアアイテムと下地	講義	自己紹介 この授業について/クレンジング料 洗顔料 化粧水 美容液 乳液 クリーム 下地の種類と特徴
3・4	10/23 メイクアイテム1 小テスト①	講義	ファンデーション コンシーラー フェイスパウダー アイブロウ アイシャドウの種類と特徴
5・6	10/30 メイクアイテム2 小テスト①	講義	アイライナー マスカラ リップ チーク ハイライター・シェーディングの種類と特徴
7・8	11/6 復習＆調整 / その他のコスメ	講義	スキンケア・メイクアイテムについて復習 / シカクリーム EGF/FGF再生クリーム
9・10	11/13 中間試験 30点 / 肌の構造	講義	スキンケア・メイクアイテムについて / 表皮・真皮の構造と役割
11・12	11/20 肌トラブル 乾燥 / 紫外線 小テスト①	講義	保湿成分 乾燥に適した美容施術 / UV-A UV-B、SPF値 PA値について
13・14	11/27 サンケアアイテム/肌トラブル シミ1 小テスト②	講義	紫外線吸収剤・紫外線散乱剤、サンケアアイテムの種類と特徴 / シミのできるメカニズム
15	12/4 肌トラブル シミ2 / その他のコスメ	講義	シミの種類 美白成分 シミに適した美容施術 / 炭酸コスメについて マイクロニードル ニードルコスメ について
16・17	12/11 肌トラブル ニキビ 小テスト②	講義	ニキビのできるメカニズム ニキビの種類 ニキビ予防成分 ニキビに適した美容施術
18・19	12/18 肌トラブル 毛穴 小テスト②	講義	毛穴の種類 ピーリング成分 酵素洗顔 毛穴に適した美容施術
20・21	1/8 肌トラブル シワ・たるみ 小テスト①	講義	シワの種類 抗酸化成分 レチノールについて シワ・たるみに適した美容施術
22・23	1/15 定期試験90分1コマ 60点	講義	肌トラブルと美容成分について
24・25			
26・27			
28・29			

科目名 (英)	トータルビューティ実践	年次	1	必修科目	実務経験	科目 責任者	内藤 麻代
		授業形態	講義		有	開講区分	
		時間数	30	授業回数	15		
学科・コース	歯科助手学科	単位	2			曜日/時間	金曜7限
講師紹介	大手エステティックサロンでエステティシャンをして活躍した実務教員である。2004年より美容学校でエステティック教科全般、アロマ等を担当している。						
目的	アロマセラピーの基礎知識を習得し、美と健康への関心を高め、美容分野での仕事に役立つような実践をおこなう。						
科目概要	アロマ(香り、精油)について学ぶ						
到達目標	アロマセラピー検定のテキストをベースに、アロマセラピーの基礎知識を習得する。アロマセラピーを日常生活に役立つように実践する。						
評価方法	定期試験および臨時試験(論文・レポート・小テストを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で「A」「B」「C」「D」「E」「F」の6段階評価を行う。出席率が70%未満の者は、受験資格を喪失し、E評価とするが、試験当日の出席は認められる。 ■筆記試験 □口頭試験 □実技試験 □その他()						
教科書	アロマセラピー検定2級テキスト			事前事後 学習と その内容	毎回の授業の復習として、教科書を読みなおすことで知識の定着を図る。		
参考図書	アロマセラピー検定2級問題集						
特記事項	なし						

授 業 計 画			
回数	授業テーマ	授業形態	授業内容
1	アロマセラピーの基本	講義	精油について
2	アロマセラピーの安全性について	講義	アロマセラピーを実践する。精油のプロフィール。
3	精油のプロフィール	講義	ゼラニウム～ローマンカモミール
4	アロマクラフト	講義	アロマクラフト(スプレー)、アロマセラピーメカニズム、ビューティー&ヘルスケア
5	アロマセラピーの歴史	講義	アロマセラピーの歴史、アロマセラピーに関する法律、検定試験
6	アロマセラピー問題集	講義	アロマセラピー検定の問題集をやってみる
7	中間チェック		
8	アロママッサージ	講義	リフレ、ハンド
9	アロママッサージ	講義	ヘッド
10	アロママッサージ	講義	モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)
11	アロママッサージ	講義	モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)
12	アロママッサージ	講義	モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)
13	アロママッサージ	講義	モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)
14	アロママッサージ	講義	モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)
15	定期試験		